

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【坂東市立七郷小学校】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	第1学年～第6学年 184名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 学級活動、道徳 )</p> <p>② 行事名 ( 平岡選手のお話を聞く会 )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	オリンピック選手のこれまでの体験や努力の足跡などの話を聞き、目標をもって努力することの大切さを知るとともに、実際の競技の一部を見たり体験したりすることで、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。
5 取組内容	<p>(1)事前学習</p> <p>○学級活動でオリンピック・パラリンピックの競技を知る。オリンピック・パラリンピックの理念や精神についての理解を図った。(全学年)</p> <p>○道徳で国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」を活用し、パラリピアン「香西選手」について学習し、スポーツを楽しむことにおいて人間は、平等であることへの理解を深めた。(3～6年生)</p> <p>○図書室内にオリンピック・パラリンピックコーナーを設置し、調べ学習を行い、児童の興味・関心を高めた。(全学年)</p> <p>○代表児童による平岡拓晃さんについての広報活動や体育委員による昼の放送時にオリンピック・パラリンピッククイズの実施し、関心を高めた。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>オリンピック・パラリンピックコーナー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>広報活動の様子</p> </div> </div>

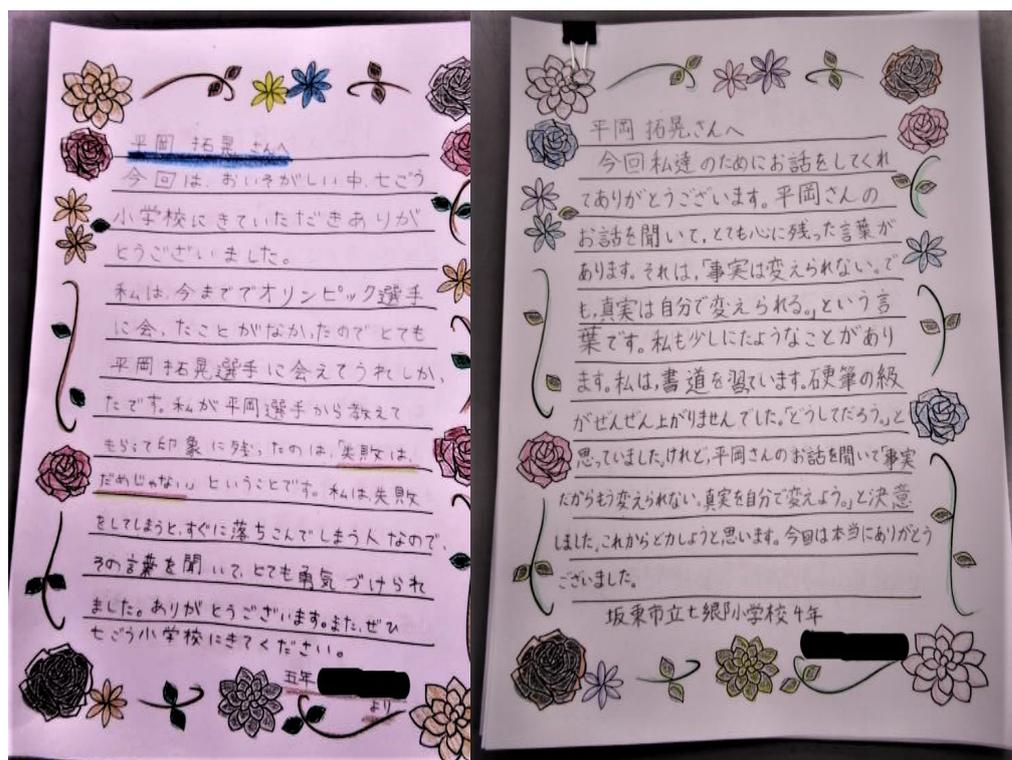
## (2)「平岡選手のお話を聞く会」の実施

- ・実施日 令和3年1月15日(金)
- ・講師 平岡 拓晃さん(筑波大学)  
2012 ロンドンオリンピック 柔道男子60キログラム級 銀メダリスト
- ・場所 七郷小学校体育館
- ・参加者 全児童
- ・講演 演題「失敗＝ダメじゃない」
- ・稽古披露・代表児童体験
- ・記念写真撮影
- ・お礼の言葉・花束贈呈・手作りメダルのプレゼント



## (3)事後指導

○本事業を通して興味をもったこと、学んだことについて振り返るとともに、平岡さんへのお礼の手紙を書いた。



6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オリンピアンの話「失敗＝ダメじゃない」を聴いて児童一人一人が、自分の目標に向かって、失敗してもあきらめないで努力することの大切さを実感し、今後に生かそうとする考えをもつことができた。また、柔道に関する興味・関心が高まり、オリンピック競技を実際に観戦してみたいという児童が増えた。</li> <li>• 事前学習や講演会での体験を通して、オリンピック・パラリンピックについて、自分の知らない競技を知るきっかけとなった。また、実際にオリンピックの稽古の様子を見ることで、よりオリンピック・パラリンピックへのあこがれや興味・関心が高まった。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事前学習時に、6年生が平岡さんについての調べ学習を行い、各学級で広報活動を通して、講演会に向けて関心を高めた。</li> <li>• 講演時に、全学年に発達段階に応じた役割をもたせ、児童の関わりを多く設定することで、全校でオリンピック選手を迎える意識を高めた。</li> <li>• 学区内の柔道クラブと連携し、畳を借用して体育館に体験場所を設置した。</li> <li>• 図書室にオリンピック・パラリンピックコーナーを設置し、書籍を閲覧したり、クイズを解いたりできる環境を整えた。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単発的な講演会だけで終わらせないように、オリパラ教育をいかに学校教育のカリキュラムに位置付けていくかが課題である。</li> <li>• オリピアン・パラリピアン（講師）の招聘等について、紹介してくれるコーディネーターがいるとありがたい。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2021年の東京オリンピック・パラリンピックに関心をもち、応援しようとする意欲を継続させるために、指導教材を活用して授業を実践する。</li> <li>• 聖火リレーが7月5日（月）に坂東市を通過するので、児童や家庭に周知しながら、東京オリンピック・パラリンピックに向けた興味・関心を高めていく。</li> </ul>